

1

二項定理を用いて、次の式を展開せよ。

- (1) $(a+b)^5$ (2) $(a-b)^7$ (3) $(x+3)^5$
 (4) $(m-2)^4$ (5) $(2x-y)^6$ (6) $(3x+2y)^5$

2

次の式の展開式における、[]内に指定した項の係数を求めよ。

- (1) $(a+5)^9$ [a^8] (2) $(2x-5)^4$ [x^2]
 (3) $(3-a)^{10}$ [a^7] (4) $(2x-3y)^7$ [x^4y^3]

3

次の式の展開式における、[]内に指定した項の係数を求めよ。

- (1) $\left(x^3 + \frac{2}{x}\right)^7$ [x^5] (2) $\left(2x^3 - \frac{1}{3x^2}\right)^5$ [定数項]

4

次の式の展開式における、[]内に指定した項の係数を求めよ。

- (1) $(a+b+c)^{10}$ [$a^3b^5c^2$] (2) $(x+2y-z)^7$ [$x^2y^2z^3$]

5

次の等式が成り立つことを証明せよ。

- (1) ${}_nC_0 + 3{}_nC_1 + 3^2{}_nC_2 + \dots + 3^n{}_nC_n = 4^n$
 (2) ${}_nC_0 - \frac{{}_nC_1}{2} + \frac{{}_nC_2}{2^2} - \dots + (-1)^n \frac{{}_nC_n}{2^n} = \left(\frac{1}{2}\right)^n$

6

等式 $(1+x)^n(x+1)^n = (1+x)^{2n}$ が常に成り立つことを用いて、次の等式を証明せよ。

$${}_nC_0^2 + {}_nC_1^2 + \dots + {}_nC_n^2 = {}_{2n}C_n$$

7

二項定理を用いて、次の不等式が成り立つことを証明せよ。ただし、 n は 2 以上の整数とする。

- (1) $\left(1 + \frac{1}{n}\right)^n > 2$ (2) $(1+x)^n \geq 1 + nx + \frac{n(n-1)}{2}x^2$ ($x > 0$)

8

21^{10} を 400 で割ったときの余りを求めよ。

9

次の式の展開式における、[]内に指定した項の係数を求めよ。

(1) $(a+b+c)^8 [a^4b^3c]$

(2) $(x+y+z)^{10} [x^6z^4]$

(3) $(3p+q+2r)^5 [pq^2r^2]$

(4) $(2x+3y-z)^7 [x^2y^3z^2]$

10

$\left(x^2 - x + \frac{1}{x}\right)^8$ の展開式において、定数項を求めよ。

1

解説

- (1) $(a+b)^5$
 $= {}_5C_0 a^5 + {}_5C_1 a^4 b + {}_5C_2 a^3 b^2 + {}_5C_3 a^2 b^3 + {}_5C_4 a b^4 + {}_5C_5 b^5$
 $= a^5 + 5a^4 b + 10a^3 b^2 + 10a^2 b^3 + 5a b^4 + b^5$
- (2) $(a-b)^7$
 $= {}_7C_0 a^7 + {}_7C_1 a^6(-b) + {}_7C_2 a^5(-b)^2$
 $+ {}_7C_3 a^4(-b)^3 + {}_7C_4 a^3(-b)^4 + {}_7C_5 a^2(-b)^5 + {}_7C_6 a(-b)^6 + {}_7C_7(-b)^7$
 $= a^7 - 7a^6 b + 21a^5 b^2 - 35a^4 b^3 + 35a^3 b^4 - 21a^2 b^5 + 7a b^6 - b^7$
- (3) $(x+3)^5$
 $= {}_5C_0 x^5 + {}_5C_1 x^4 \cdot 3 + {}_5C_2 x^3 \cdot 3^2 + {}_5C_3 x^2 \cdot 3^3 + {}_5C_4 x \cdot 3^4 + {}_5C_5 3^5$
 $= x^5 + 15x^4 + 90x^3 + 270x^2 + 405x + 243$
- (4) $(m-2)^4$
 $= {}_4C_0 m^4 + {}_4C_1 m^3(-2) + {}_4C_2 m^2(-2)^2 + {}_4C_3 m(-2)^3 + {}_4C_4(-2)^4$
 $= m^4 - 8m^3 + 24m^2 - 32m + 16$
- (5) $(2x-y)^6$
 $= {}_6C_0(2x)^6 + {}_6C_1(2x)^5(-y) + {}_6C_2(2x)^4(-y)^2$
 $+ {}_6C_3(2x)^3(-y)^3 + {}_6C_4(2x)^2(-y)^4 + {}_6C_5(2x)(-y)^5 + {}_6C_6(-y)^6$
 $= 64x^6 - 192x^5 y + 240x^4 y^2 - 160x^3 y^3 + 60x^2 y^4 - 12x y^5 + y^6$
- (6) $(3x+2y)^5$
 $= {}_5C_0(3x)^5 + {}_5C_1(3x)^4(2y) + {}_5C_2(3x)^3(2y)^2 + {}_5C_3(3x)^2(2y)^3 + {}_5C_4(3x)(2y)^4 + {}_5C_5(2y)^5$
 $= 243x^5 + 810x^4 y + 1080x^3 y^2 + 720x^2 y^3 + 240x y^4 + 32y^5$

2

解説

- (1) 展開式の一般項は ${}_9C_r a^{9-r} 5^r = 5^r {}_9C_r a^{9-r}$
よって、 a^8 の項の係数は、一般項の係数部分に $r=1$ を代入して
 $5^1 {}_9C_1 = 5 \cdot 9 = 45$
- (2) 展開式の一般項は ${}_4C_r (2x)^{4-r} (-5)^r = 2^{4-r} (-5)^r {}_4C_r x^{4-r}$
よって、 x^2 の項の係数は、一般項の係数部分に $r=2$ を代入して
 $2^{4-2} (-5)^2 {}_4C_2 = 4 \cdot 25 \cdot 6 = 600$
- (3) 展開式の一般項は ${}_{10}C_r 3^{10-r} (-a)^r = 3^{10-r} (-1)^r {}_{10}C_r a^r$
よって、 a^7 の項の係数は、一般項の係数部分に $r=7$ を代入して
 $3^{10-7} (-1)^7 {}_{10}C_7 = 27 \cdot (-1) \cdot 120 = -3240$
- (4) 展開式の一般項は ${}_7C_r (2x)^{7-r} (-3y)^r = 2^{7-r} (-3)^r {}_7C_r x^{7-r} y^r$
よって、 $x^4 y^3$ の項の係数は、一般項の係数部分に $r=3$ を代入して
 $2^{7-3} (-3)^3 {}_7C_3 = 16 \cdot (-27) \cdot 35 = -15120$

3

解説

- (1) 展開式の一般項は ${}_7C_r (x^3)^{7-r} \left(\frac{2}{x}\right)^r = {}_7C_r x^{21-3r} 2^r x^{-r} = 2^r {}_7C_r x^{21-4r}$
 $21-4r=5$ を解いて $r=4$
よって、 x^5 の項の係数は $2^4 {}_7C_4 = 16 \cdot 35 = 560$
- (2) 展開式の一般項は
 ${}_5C_r (2x^3)^{5-r} \left(-\frac{1}{3x^2}\right)^r = {}_5C_r 2^{5-r} x^{15-3r} \left(-\frac{1}{3}\right)^r x^{-2r} = 2^{5-r} \left(-\frac{1}{3}\right)^r {}_5C_r x^{15-5r}$
 $15-5r=0$ を解いて $r=3$
よって、定数項は
 $2^{5-3} \left(-\frac{1}{3}\right)^3 {}_5C_3 = 4 \cdot \left(-\frac{1}{27}\right) \cdot 10 = -\frac{40}{27}$

4

解説

- (1) $\{(a+b)+c\}^{10}$ の展開式において、 c^2 を含む項は ${}_{10}C_2 (a+b)^8 c^2$
また、 $(a+b)^8$ の展開式において、 $a^3 b^5$ の項の係数は ${}_8C_5$
よって、 $(a+b+c)^{10}$ の展開式における $a^3 b^5 c^2$ の項の係数は
 ${}_{10}C_2 \times {}_8C_5 = 2520$
- (2) $\{(x+2y)+(-z)\}^7$ の展開式において、 z^3 を含む項は
 ${}_7C_3 (x+2y)^4 (-z)^3 = -7 {}_7C_3 (x+2y)^4 z^3$
また、 $(x+2y)^4$ の展開式において、 $x^2 y^2$ の項は ${}_4C_2 x^2 (2y)^2 = 2^2 {}_4C_2 x^2 y^2$
よって、 $(x+2y-z)^7$ の展開式における $x^2 y^2 z^3$ の項の係数は
 $-7 {}_7C_3 \times 2^2 {}_4C_2 = -840$

5

解説

- 二項定理により、次の等式が成り立つ。
 $(1+x)^n = {}_n C_0 + {}_n C_1 x + {}_n C_2 x^2 + \cdots + {}_n C_n x^n \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$
- (1) 等式①において $x=3$ とすると $(1+3)^n = {}_n C_0 + {}_n C_1 3 + {}_n C_2 3^2 + \cdots + {}_n C_n 3^n$
よって、次の等式が成り立つ。
 ${}_n C_0 + 3 {}_n C_1 + 3^2 {}_n C_2 + \cdots + 3^n {}_n C_n = 4^n$
- (2) 等式①において $x=-\frac{1}{2}$ とすると
 $\left(1-\frac{1}{2}\right)^n = {}_n C_0 + {}_n C_1 \left(-\frac{1}{2}\right) + {}_n C_2 \left(-\frac{1}{2}\right)^2 + \cdots + {}_n C_n \left(-\frac{1}{2}\right)^n$
よって、次の等式が成り立つ。
 ${}_n C_0 - \frac{{}_n C_1}{2} + \frac{{}_n C_2}{2^2} - \cdots + (-1)^n \frac{{}_n C_n}{2^n} = \left(\frac{1}{2}\right)^n$

6

解説

$$(1+x)^n = {}_n C_0 + {}_n C_1 x + {}_n C_2 x^2 + \cdots + {}_n C_n x^n$$

$$(x+1)^n = {}_n C_0 x^n + {}_n C_1 x^{n-1} + {}_n C_2 x^{n-2} + \cdots + {}_n C_n$$

である。

$(1+x)^n(x+1)^n$ を展開したとき、 x^n の項は

$(1+x)^n$ から ${}_n C_0$, $(x+1)^n$ から ${}_n C_0 x^n$ を選んで掛け合わせ、

$(1+x)^n$ から ${}_n C_1 x$, $(x+1)^n$ から ${}_n C_1 x^{n-1}$ を選んで掛け合わせ、

$(1+x)^n$ から ${}_n C_2 x^2$, $(x+1)^n$ から ${}_n C_2 x^{n-2}$ を選んで掛け合わせ、……

$(1+x)^n$ から ${}_n C_n x^n$, $(x+1)^n$ から ${}_n C_n$ を選んで掛け合わせ、

これらを加えることで得られる。

よって、 $(1+x)^n(x+1)^n$ を展開したときの x^n の項の係数は

$${}_n C_0^2 + {}_n C_1^2 + \cdots + {}_n C_n^2$$

一方、 $(1+x)^{2n}$ を展開したときの一般項は ${}_{2n} C_r x^r$ であるから、 $(1+x)^{2n}$ を展開したとき

の x^n の項の係数は ${}_{2n} C_n$ となる。

$(1+x)^n(x+1)^n = (1+x)^{2n}$ であるから、両辺を展開したときの x^n の項の係数は等しい。

したがって ${}_n C_0^2 + {}_n C_1^2 + \cdots + {}_n C_n^2 = {}_{2n} C_n$

7

解説

$$(1) \left(1 + \frac{1}{n}\right)^n = {}_n C_0 + {}_n C_1 \left(\frac{1}{n}\right) + {}_n C_2 \left(\frac{1}{n}\right)^2 + \cdots + {}_n C_n \left(\frac{1}{n}\right)^n$$

$${}_n C_2 > 0, {}_n C_3 > 0, \dots, {}_n C_n > 0, \frac{1}{n} > 0$$

であるから、 $n \geq 2$ のとき

$${}_n C_2 \left(\frac{1}{n}\right)^2 + \cdots + {}_n C_n \left(\frac{1}{n}\right)^n > 0$$

よって

$${}_n C_0 + {}_n C_1 \left(\frac{1}{n}\right) + {}_n C_2 \left(\frac{1}{n}\right)^2 + \cdots + {}_n C_n \left(\frac{1}{n}\right)^n > {}_n C_0 + {}_n C_1 \left(\frac{1}{n}\right) = 1 + n \times \frac{1}{n} = 2$$

したがって $\left(1 + \frac{1}{n}\right)^n > 2$

$$(2) (1+x)^n = {}_n C_0 + {}_n C_1 x + {}_n C_2 x^2 + \cdots + {}_n C_n x^n$$

[1] $n=2$ のとき

$$(1+x)^2 = {}_2 C_0 + {}_2 C_1 x + {}_2 C_2 x^2 = 1 + 2x + \frac{2(2-1)}{2} x^2$$

[2] $n \geq 3$ のとき

$${}_n C_3 > 0, \dots, {}_n C_n > 0, x > 0 \text{ であるから}$$

$${}_n C_3 x^3 + \cdots + {}_n C_n x^n > 0$$

$$\text{よって } (1+x)^n > {}_n C_0 + {}_n C_1 x + {}_n C_2 x^2 = 1 + nx + \frac{n(n-1)}{2} x^2$$

したがって、[1], [2] より、 $n \geq 2$ のとき

$$(1+x)^n \geq 1 + nx + \frac{n(n-1)}{2} x^2$$

8

解説

二項定理を用いて、 21^{10} を計算すると

$$21^{10} = (20+1)^{10}$$

$$= {}_{10} C_0 20^{10} + {}_{10} C_1 20^9 + {}_{10} C_2 20^8 + \cdots + {}_{10} C_8 20^2 + {}_{10} C_9 20 + {}_{10} C_{10}$$

$$= 20^2 ({}_{10} C_0 + 20 {}_{10} C_1 + 20^2 {}_{10} C_2 + \cdots + {}_{10} C_8) + 200 + 1$$

したがって、 21^{10} を $400 (= 20^2)$ で割ったときの余りは $200 + 1 = 201$

9

解説

$$(1) \frac{8!}{4!3!1!} = 280$$

$$(2) \frac{10!}{6!0!4!} = 210$$

(3) $(3p+q+2r)^5$ を展開したときの pq^2r^2 の項は

$$\frac{5!}{1!2!2!} (3p)q^2(2r)^2 = \frac{5!}{1!2!2!} \times 3 \cdot 2^2 \times pq^2r^2$$

よって、求める係数は $\frac{5!}{1!2!2!} \times 3 \cdot 2^2 = 360$

(4) $(2x+3y-z)^7$ を展開したときの $x^2y^3z^2$ の項は

$$\frac{7!}{2!3!2!} (2x)^2(3y)^3(-z)^2 = \frac{7!}{2!3!2!} \times 2^2 \cdot 3^3 \cdot (-1)^2 \times x^2y^3z^2$$

よって、求める係数は $\frac{7!}{2!3!2!} \times 2^2 \cdot 3^3 \cdot (-1)^2 = 22680$

10

解説

$\left(x^2 - x + \frac{1}{x}\right)^8$ を展開したときの一般項は

$$\frac{8!}{p!q!r!} (x^2)^p (-x)^q \left(\frac{1}{x}\right)^r = \frac{8!}{p!q!r!} (-1)^q x^{2p+q-r} \quad \text{ただし、} p+q+r=8$$

$p+q+r=8$, $2p+q-r=0$ を満たす 0 以上の整数 p, q, r の組は、次の 2 つである。

$$(p, q, r) = (0, 4, 4), (2, 1, 5)$$

よって、定数項は $\frac{8!}{0!4!4!} (-1)^4 + \frac{8!}{2!1!5!} (-1)^1 = 70 - 168 = -98$